



永守蒼穹先生と黒田玄夏代表



2022 玄煌社書展

- 1)黒田玄夏近作展(傘寿から卒寿まで)
- 2)玄煌社選抜自選展
- 3)会員習作展

と き:令和4年10月18日(火)~23日(日)

と ころ:名古屋市民ギャラリー栄 8F

今回の玄煌社書展は、玄煌社代表で会員の師匠でもある黒田玄夏先生が卒寿を迎えられ、これをお祝いすることから計画し開催に至りました。

師匠の傘寿から卒寿までの近作作品18点、会員選抜自選作品43点、習作作品17点。総数78作品がギャラリー二室の壁面に展示されました。

会場に入るとすぐに師匠の作品群が来場者を案内します。作品の力強さ、大小、線質、繊細さなどその多彩さに「同じ方の作品ですか?」と驚かれて一点一点鑑賞されている様子が印象的でした。

師匠の作品に続き選抜自選作品が続きます。会員各々が今までの各種展覧会等に出品した自選作品が展示され、ここでは作者の個性豊かな作品が鑑賞されていました。「これは書でありながら絵のようだ。」と立ち止まって作品に近づいて見入っている方の姿が多く、ご高名の先生方からも嬉しい評価をいただきました。続いて習作小作品が並びます。小さな紙面に個性豊かな作品が趣ある展示で観る人を楽しませているようでした。

開催期間中は創玄書道会永守蒼穹先生、室井玄聳先生がおいで下さり、東海創玄書道会、中部日本書道会の諸先生を始め、大勢の皆様にご来場賜り、お褒め、激励のお言葉をいただきました。会員一同心から感謝申し上げますと共に、今後一層精進してまいる所存でございます。ありがとうございました。